

光の花を咲かせる

県造園組合
官学

谷山緑地で「緑月灯」



今回が初開催の「緑月灯」、伝統行事「六月灯」に着想を得た=鹿児島市の県立都市公園谷山緑地

鹿児島市の県立都市公園谷山緑地で22日、LED灯籠1600個で彩る「緑月灯」

が催された。南栄1丁目の緑地帯に光の花が咲き誇り、訪れた人々に感動を届けた。

イベントは、指定管



緑月灯は、鹿児島の

園事業協同組合（梅木竜一理事長）・F.M.かごしま共同事業体、鹿児島大学工学部建築学科柴田・増留研究室、鹿児島第一ライオンズクラブ（今野由貴子会長）の「グリントプロジェクト実行委員会」が主催し、県の後援による産官学プロジェクト。

伝統行事「六月灯」に着想を得て、今回初開催。同日、ワークショップで製作された灯籠200個〔写真〕と事前に地域の保育園などから提供された1400個による光のアートで幻想的な空間をつくり上げ、訪れた人々に感動を届けた。

梅木理事長（梅木緑園事業協同組合）は「気軽に立ち寄ってもらえる憩いの場となるように今後も取り組んでいけば」と話し、緑月灯を発案した鹿児島大学の増留麻紀子准教授も「谷山緑地の魅力をどんどん

光園）は「気軽に立ち寄ってもらえる憩いの場となるように今後も取り組んでいけば」と話し、緑月灯を発案した鹿児島大学の増留麻紀子准教授も「谷山緑地の魅力をどんどん

発信していくよう産官学が一緒になつて進めていきたい」と意気込んだ。